

【FdData 中間期末：中学社会地理：中部】

【北陸：地場産業など】

【問題】(3 学期)

富山県の売薬や、福井県鯖江市のめがねフレームなど、特定の地域と密接に結びついた産業を特に何とよんでいるか。

【解答】地場産業

【解説】

[北陸の **地場産業**]

積雪量が多く農作業ができない
冬の間副業として発達



ほくりく

北陸地方では、雪が積もる冬の間は農作業が難しいため、副業がさかんになり、地域の特色を生かした地場産業が発達した。福井県鯖江市の眼鏡のフレーム、富山の売薬などの地場産業が名高い。地場産業の中には、古くからの技術を生かしてつくられる伝統的工芸品を製造する伝統産業も数多くある。北陸地方の伝統産業としては、石川県の輪島塗・九谷焼・加賀友禅、福井県の越前和紙、富山県の高岡銅器、新潟県燕市の洋食器、三条市の刃物などがある。近年は、後継者の不足の問題が出てきている。

[問題](3 学期)

次の文の①～③に適語を入れよ。

中部地方の日本海側の地域は冬に(①)が多いため、冬の間には副業がさかんに行われており、地域の特色を生かした(②)産業が発達した。また、加賀友禅や越前和紙など(③)品を製造している地域も多くある。

[解答]① 雪 ② 地場 ③ 伝統工芸

[問題](後期期末)

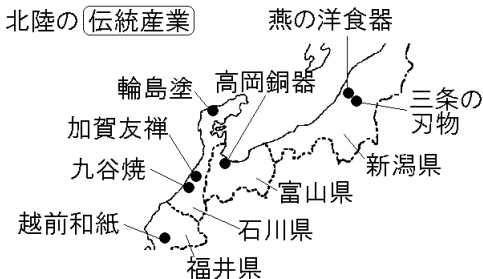
次の各問いに答えよ。

- (1) 「眼鏡フレーム(鯖江市)」「輪島塗(輪島市)」「小千谷ちぢみ(小千谷市)」のような、その地域に昔から根付いた産業のことを何というか。
- (2) 北陸地方で(1)のような産業がさかんな理由を「副業」「冬」という2つの語句を使って説明せよ。

[解答](1) 地場産業 (2) 積雪量が多く農作業ができない冬の間、副業として発達した。

[問題](3 学期)

次の資料から、なぜ北陸に伝統的工芸品が多いのか。説明せよ。



[解答]日本海側の地域では、積雪量が多く農作業ができない冬の間の副業として発達したから。

[問題](3 学期)

次の[]の中で、日本海側の地域で冬の副業から発達した地場産業ではないものを1つ選べ。

[薬(富山市) 輪島塗(輪島市) ピアノ(浜松市)
眼鏡フレーム(鯖江市)]

[解答]ピアノ(浜松市)

[解説]

浜松市は太平洋岸の東海地方にある。

[問題](前期期末)

次の[]のうち、北陸の伝統的工芸品ではないものはどれか。1つ選べ。

[九谷焼 南部鉄器 小千谷ちぢみ 高岡銅器]

[解答]南部鉄器

[解説]

南部鉄器は東北地方の岩手県の伝統的工芸品である。

[問題](前期期末)

次の①, ②の文は, ある県について説明したものである。どの県の説明か, それぞれ[]から選べ。

- ① メガネのフレーム作りがさかんで, 国内生産の約9割をしめている。若狭湾に面し, 原子力発電所が多い。
- ② 輪島塗や九谷焼, 金沢箔などの伝統的工芸品が有名である。

[福島県 石川県 福井県 富山県]

[解答]① 福井県 ② 石川県

[問題](前期期末)

富山県では, ()発電による電力を利用してアルミニウムなどの金属加工業がさかんである。()にあてはまる語句を次の[]の中から選べ。

[火力 水力 原子力 太陽光]

[解答]水力

[解説]

アルミニウム^{せいれん}精錬には多量の電力が必要である。電力を送電線で送るとき送電ロスがでるため、発電所に近いほど経済的に有利である。富山県は、黒部ダムなど中央高地の水力発電所に近いため、豊富な電力を安い費用で利用できた。

[問題](3 学期)

1980 年代、北陸地方では日本海周辺の国々との交流をはかり、ともに発展しようとする構想が生まれた。この構想を何というか。

[解答]環日本海経済圏構想

◆社会地理の各ファイルへのリンク

<http://www.fdtype.com/dp/sc4/index.html>

◆FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

http://www.fdtype.com/dp/qanda_k.html

◆製品版(パソコン Word 文書：印刷・編集用)
の価格・購入方法

<http://www.fdtype.com/dp/seihin.html>

※ iPhone でリンク先が開かない場合は、
「iBooks」を開いてリンクをタップください。

【Fd 教材開発】 Mail : info2@fdtype.com